



# 広島東南ロータリークラブ 週報 2018年6月18日 (第2699回例会)

例会日 月曜日 ANAクラウンプラザホテル広島 Tel. 241-1111  
事務所 リーガロイヤルホテル広島13階 Tel. 221-4894  
会長 伊藤正樹 幹事 菅 富誉樹



6月は「ロータリー親睦活動月間」です

## 本日の例会

### スケジュール

- 12:30 点 鐘**  
ロータリーソング「それでこそロータリー」  
来客紹介 (親睦委員会)  
会食
- 12:45 会長時間** (伊藤会長)  
**幹事報告** (菅 幹事)  
委員会報告  
・出席報告 (出席委員会)  
・その他  
同好会報告  
S.A.A.
- 13:00 プログラム**  
**13:30 点 鐘**

### 会長時間

### 幹事報告

- 退会のお知らせー森 美喜夫会員 (6/11 付け)
- 次回例会は、18:30～「最終例会・懇親会」開催
- 例会終了後、次年度クラブアッセンブリー開催

### 本日のプログラム

「働く人を元気に！企業を元気に！『オフィトレ』」  
(株)広島元気いっぱいプロジェクト  
岩崎 浩美 様

### 次回例会 (6月25日)

「最終例会・懇親会」  
18:30～於ANAクラウンプラザホテル広島

## お知らせ



6/11 迫田勝明ガバナー補佐様より卓話を頂きました。  
1年間のご指導に感謝いたします。



連続100%出席表彰  
廣谷洲枝君(15年),神田敏治君(15年),馬場崎好美君(1年)

### 今後の予定

- ★次年度第2回クラブアッセンブリー  
とき 6月18日(月)13:35～  
ところ ANAクラウンプラザホテル広島  
議題 「事業計画」最終確認
  - 最終例会・懇親会(例会変更)  
とき 6月25日(月)18:30～  
ところ ANAクラウンプラザホテル広島
  - 臨時総会  
とき 7月9日(月)例会時  
ところ 例会場  
議案 ①2017-18年度事業報告  
②2018-19年度事業計画
  - 長期ビジョン検討特別委員会  
とき 7月9日(月)13:35～  
ところ ANAクラウンプラザホテル広島
  - 広島みなと夢花火大会クルーズ家族会  
とき 7月28日(土) **予告**  
ところ “銀河” 船上
- (★はメイクアップ対象会合です)

### <他クラブ例会臨時変更のお知らせ>

- 06/18(月) 広島廿日市 RC →夜間例会
- 06/19(火) 広島西南 RC →夜間例会
- 06/25(月) 広島中央 RC →夜間例会
- 〃 広島廿日市 RC →休会
- 06/26(火) 広島・西南・安芸 RC →休会
- 06/27(水) 広島陵北 RC →夜間例会
- 06/28(木) 広島北・安佐 RC →夜間例会
- 06/29(金) 広島城南 RC →夜間例会
- 07/10(火) 広島安芸 RC →夜間例会

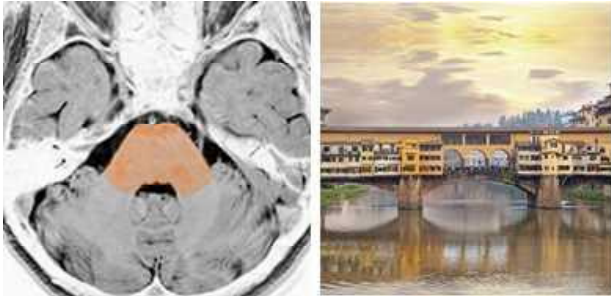
## 前回 2018年6月11日例会

## 卓話「脳のお話」

ガバナー補佐 迫田 勝明 様



皆さんは“脳”という言葉聞いた時、何を想像されますでしょうか。少し、“脳”について説明しましょう。まず、神経系は中枢神経と末梢神経の分けることが出来ます。そして、中枢神経系は大腦、小脳、脊髄に分かれますが、その間に“橋”と名の付く部位があります。“橋”の名前の由来は、その断面が、イタリアのベッキオ橋などの橋に形が似ていることに由来しています。



脳 の 橋 と ベッキオ橋

最近、脳に関して、話題になったのは、西城秀樹の脳梗塞でしたが、「脳血管疾患」についてみると、「脳血管疾患」は、高齢者の介護が必要になる原因の最大のもので、「脳卒中」という言葉が聞かれたことがあると思いますが、卒は突然という意味であり、中は当たることを意味します。すなわち、脳卒中は脳の病気で何かに当たったように突然倒れることを意味し、「中気」は感情のたかぶり、即ち、気に当たったと思われる病気で、「中風」は、気象的因子のうち、風にあたり卒然と倒れた病気を意味しますが、これは一般的な用語で医学用語ではありません。

医学用語では、「脳血管障害」という言葉を使います。脳血管障害は、血管が破れるタイプの「脳内出血」や「くも膜下出血」と、血管が詰まるタイプの「心原性脳塞栓症」、「アテローム血栓性脳梗塞」と「ラクナ梗塞」などに分けることができます。

脳内出血は、高血圧などにより、脳のなかの色々な場所に出血するものをいいますが、レンズ核線条体動脈から出血する被殻出血が最も多くみられます。くも膜下出血は、脳は硬膜、くも膜、軟膜などの髄膜に覆われていますが、くも膜と軟膜の間を流れる脳脊髄液の中に出血するものをいいます。脳脊髄液は、人の頭には 150 CC 前後ありま



そもそもくも膜とは

すが、脳室の脈絡叢で一日 500 CC くらい作られており、3 回入れ替わるくらい、くも膜と軟膜の間を流れています。「くも膜」の名前は、蜘蛛が木々の間に張る薄い膜に似ていることによります。その髄液の中を走る動脈にできた動脈瘤が破裂すると、髄液の中に出血するわけで、それが「くも膜下出血」と呼ばれます。くも膜下出血は、昔は、開頭して動脈瘤をクリップで止めていましたが、最近は開頭せず血管内手術で動脈瘤をコイルで詰めて治すことも多くなっています。

一方、心原性脳塞栓は心臓弁膜症などにより心臓から飛んできた血栓が脳の血管に詰まる病気であり、アテローム血栓性脳梗塞は動脈硬化で脳の血管が狭くなり詰まる病気です。ラクナ梗塞は脳の小さな血管が詰まって起こりますが、場所によっては症状がないことも多くみられます。

正常の脳の平均血流量は、60ml/100g/分であり、脳の重量は 1200-1300g (体重の約 2.5%) です。体重の 2.5%の臓器に全血流即ち、心拍出量の 20%の血流量が脳に流れていることになります。

脳は、安静にしているときでも 1日 120 g、1時間に 5 g ものブドウ糖を消費する、驚くべき大食いの臓器です。しかも、少量しかブドウ糖を蓄積することができないので、常にエネルギーを補給しなければなりません。

脳が消費するエネルギーを安定して供給するには、全身の血中ブドウ糖濃度を血液 1dl 当たり約 100mg に保つ必要があります。また、他の臓器ではたんぱく質や脂肪もエネルギーとなりますが、脳は血液・脳関門といわれる検問所で厳しいチェックを行い、エネルギー栄養素としてはブドウ糖以外のものを通しません。まさに、ブドウ糖は脳の活動を維持するのに重要な、唯一の栄養素なのです。

1日約 120 g。これだけのブドウ糖が供給されなければ脳は活動を続けることが出来ません。例えば、脳の血流を 3 分間止めるだけで、神経細胞が変性して元に戻らなくなります。この状態が脳梗塞です。

赤血球や精巣など脳以外でブドウ糖のみをエネルギー源とする器官での消費量は、1日約 40g。これを補い、かつ、脳が必要とする 1日 120 g のブドウ糖を補給するためには、合計 160g。

1回の食事ごとに同じくらいの量の糖類をとって、肝臓でのストック量に匹敵するグリコーゲン 50 - 60 g を貯めるとすると、1日 3 回食事をする必要があります。

[160 ÷ (50 - 60) = 3] この計算からも 1日 3 食の習慣が成立した事情が分ります。だから、常に食事によって体内のブドウ糖、グリコーゲンを補充しなければならないのです。

## 「平和の木に思いを乗せて」横組みP12-P13



佐野 庸子

出だしの文章である『ヒロシマ、フクシマ、被爆樹木』のワードから数年前、東南ロータリークラブで実施した約170本の被爆樹木のプレートの取替え、(丈夫で長持ちする為に新しく作り直したプレート付けをした) 事業を思い出した。錦織会員の事務所に多数の会員が集まり地域ごとの樹木プレートの区分けをし、その後の日曜日に直接樹木プレートを取り付けの作業を行った。爆心地2キロ以内の樹木でありながら現在も芽吹いている樹木の力強さに頼もしさを感じたものである。今、又、その被爆樹木の種や苗木が育てられ、それが各地で植えられ、平和の大切さを伝えていってくれている。広島のお思いが一本の木を通して今後も全国に全世界に通じる事を願っている。核廃絶に向け、日朝会談が行われる時代、将来は明るいものと信じたい。



## 「地区別クラブ数・会員数、日本ロータリー分布図」横組みP36-P37



大井 克元

「ロータリーの友」6月号のP36・37の地区別クラブ数・会員数一覧表と日本ロータリー分布図を見て会員増強につき私なりに考えてみました。

全34地区の内、大幅減か微減かにかかわらず15地区で17年3月末に比較して現会員数が減少しています。34地区合計では増加しておりますので地区によって会員数の増減の差ははっきり出ているのだと思います。ロータリーの会員数は経済状況、景気に左右されると言われますが、この結果を見るとそれだけでは説明できない要因があるのではと思います。

北海道は全地区、東北も多く多くの地区で減少、中国地方は2710地区を含め全県で減少しています。一方、九州、四国は全県で増加しています。会員増強にこれをすれば必ず会員数が増加するという正解はないと思います。地道な勧誘を続けることに加え、改めて現在の仲間であるクラブ会員の親睦を深め、クラブへの帰属意識を向上させて退会防止に努めることが肝要ではないかと考えました。

本年度は会員増強担当リーダーであるにもかかわらず、年度末を迎え数名の退会が発生し大変反省しておりますが、その任を離れても来年度以降も会員増強の意識を常にもってクラブの活力増進に努めたいと改めて思っております。

## 6月4日 累計：1,640,122円 (本例会 15,000円)

- 薦尾健太郎**：先日、野球同好会の祝勝会で、この度の野球大会のチーム MVP に選出して頂きました。副賞としてビールの商品券5000円分を頂きました。来年も同じように活躍できるかは定かではありませんが、ありがとうございました。(1口)
- 富部秀司**：昨日の3ロータリー(東南・城南・中央)合同ゴルフコンペに於いて、シニアの部、一般の部のダブル優勝が出来ました。梅雨の晴れ、珍事です。あみだくじ以外でもダブルペリア方式のお陰です。有り難うございました。(5口)
- 吉田範子**：①伝統あるRIエコーの制服を作らせて頂き、誠にありがとうございました。種々、不行届な点もありました事を、この場をお借りしてお詫び申し上げるとともに、感謝申し上げます。  
②6月5日の経済ジャーナルの表紙に出させて頂き、またまた恥をかいております。得意な毛筆、そのうえ1時間あまりの練習にて、何とか乗り切れましたのは、井原会員から提供して頂いた優秀な筆のお陰です。井原さん、ありがとうございました。(5口)  
→優秀な筆を提供された**井原倫子会員**より1口ご出宝。(1口)
- 山中庸詳**：・昨日、3ロータリーゴルフ大会で広島東南、例会の部で初優勝しました。次も優勝できるよう、精進します。(2口)
- 藤元秀樹**：・昨日、弊社千田車庫に於いて、「第23回路面電車まつり」を開催しました。1万3000人のご来場をいただきました。来年も開催予定ですので、ご来場をお待ちしております。(1口)



6月ゴルフ優勝の山中庸詳君

去る5月27日(日)ホテルグランヴィア広島に於いて、国際ロータリー第2710地区「クラブ戦略計画フォーラム」が開催され、当クラブより、錦織長期ビジョン検討特別委員長、吉田会長エレクト、衣笠会長ノミニ、武士末次年度クラブ管理運営委員長の4名が出席。当日の資料が、地区事務局より届きましたので、下記転載(抜萃)いたします。【クラブ会報担当】

## 国際ロータリー第2710地区 クラブ戦略計画フォーラム



RI Z3 RPIC 横山守雄  
ホテルグランヴィア広島  
2018.5.27

### 演題 「クラブにおける戦略計画 の意義と必要性」

### ロータリーの基本理念 「戦略計画」の一環

- \* 社会奉仕に関する1923年と1992年の声明
- \* ロータリーの中核的価値観
- \* 四つのテスト
- \* ロータリーの目的
- \* 五大奉仕部門
- \* ロータリークラブの目的
- \* 青少年に対する行動規範
- \* 国際ロータリーとR財団の使命と標語

### ロータリー戦略計画導入の経緯

世界全体の会員数が長期間に亙り伸びていない中でロータリー組織の維持・発展を図るため、RI理事会は2003-4年度に「Club Leadership Plan」(CLP)の導入を決定、各クラブへ推奨

その後「Strategic Planning Committee」(当初の日本語訳:長期計画委員会)を設け、2010-13年度より3年間単位の「戦略計画」導入を決定、現在も継続中

### ロータリーの戦略計画

RI、地区、及びクラブには、それぞれの「戦略計画」が存在するが、ロータリー組織の基盤を支える、各クラブの戦略計画が最も重要である

「クラブ戦略計画委員会」を立ち上げ、定期的に検討会議を開催し、中長期の戦略計画推進に活発に取り組んでいるクラブは、全国的には未だ少ない

### クラブの課題: 検討事項-その(1)

#### クラブの課題(全国調査結果)

1. 会員の高齢化(52.9%)
2. 会員の減少(52.8%)
3. 会員候補者の不在(28.5%)
4. 例会出席率の低下(26.3%)
5. 会員間の意識の違い(21.8%)
6. 女性会員未入会(16.2%)

\* 日本社会が少子高齢化、総人口、働き手の減少が今後加速する中、日本ロータリーの最大の課題は「**会員の高齢化**」と、「**会員の減少**」

\* 地域社会に存立基盤を置く個々のクラブは**地域社会の状況**に応じた**戦略計画**の立案が必要

出所: 日本ロータリー100周年実行委員会 全国アンケート調査結果

### クラブ運営上の課題: 検討事項-その(2)

#### クラブ運営上の課題(全国調査結果)

1. 例会・委員会活動のマンネリ化(33.7%)
2. ネット対応不十分(31.6%)
3. 会員に対する研修不足(31.2%)
4. Rotary公共イメージと認知度の低さ(28.5%)
5. クラブ戦略計画未着手(27.1%)
6. 奉仕事業の開発難(21.8%)
7. 前例主義の踏襲(15.6%)

出所: 日本ロータリー100周年実行委員会 全国アンケート調査結果

### クラブ運営上の「柔軟性」: 検討事項-その(3)

John Germ直前RI会長:  
2016年規定審議会で“クラブ運営に「柔軟性」導入に関する数々の制提案が採択されたことは、ロータリーの歴史的なTurning Pointになるだろう”

「**クラブ運営の多様化**」は国際ロータリー全体の流れでもあり、ネガティブなスタンスをとる日本の多くのクラブは戦略計画委員会での中・長期的な検討が不可欠

### RIの戦略的目標三分野: 検討事項-その(4)



RIは三分野の戦略的目標推進のため世界の34地区でRC・RRFC・RPICとその補佐数名を配置

三部門のコーディネーターと補佐は三位一体で各クラブ・各地区の戦略的目標への取組を**支援・協力**

三分野の戦略的目標は「**ロータリー賞**」へのチャレンジ項目と連結

### クラブ戦略計画委員会の構成メンバー

\* 「クラブ戦略計画委員会」はクラブの今後の中長期にわたる**将来計画を検討・立案**する場である

\* 戦略計画のスパンは**3年~5年**が一般的であるが、10年先を見据えた**長期計画**もある

\* 当委員会の**構成メンバー**は、これから先クラブ運営を担って行く会員が主体となり、**ローテーション**で構成されることが望ましい

(現年度・次年度・次々年度・直前のそれぞれの会長・幹事、及びクラブの課題解決と戦略計画立案に**前向き**の**パスト会長** 1~2名)